

栃の木からの手紙

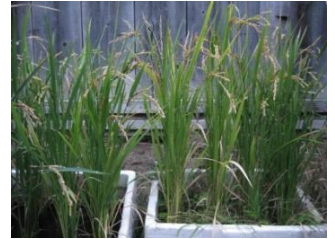


コスモス咲く秋。稲作農家から余った苗を頂いてきて試しに育てた稲穂を見る度に思い出す言葉。

「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」

子供でも知っている簡単な俳句です。でも、実行できているか？というと、50代の私でも…???…。

難しい事ですね。



10月 神無月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

5日：感謝の集い

9日：寒露 : 十三夜

10日：体育の日

12日：満月

24日：霜降

27日：新月



人は、ある程度生きる為の力がついてくると、周囲への感謝を忘れてしまいがちです。しかし、どれだけ優れていて、成功している人でも、多かれ少なかれ両親だけでなく、誰かの小さな助けや親切、愛情の上に存在出来ています。

そんなお世話になった方々の愛を感じ取る事のできる人は、年を重ねるごとに生きる姿勢も謙虚になっていくのではないのでしょうか。

秋の夜長、時にはふと立ち止まって、今の自分を形成してくれた人々を思い浮かべ、感謝してみてはいかがでしょうか。

きっと、これから出会う方々からも多くの事を学んでいける姿勢になるはずです。(自分への戒め)



サッシー芋 ・ さやあかね芋

左の2枚の写真は、自然農法畑の8月30日の写真。その内の上はサッシーとさやあかね芋の比較。下は、さやあかねときたあかり芋の比較。平年では、8月初めには地上部は疫病で殆ど枯れ、8月末には下写真の中心の看板右の

様に草だらけになります。これが今まで生産していたきたあかり芋の姿。それに比べてサッシーやさやあかね芋はまだ緑が残っているのです。実際の収量は、サッシーやさやあかね芋はきたあかり芋に比べて反当たり1.6倍と多く、芋のサイズもきたあかりより大きい状況でした。